

評価実施日：2022年3月4日（公表日：2022年3月10日）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童一人一人が十分に活動ができる、広い空間になっている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			職員配置数とご利用児童数がマンツーマンに近い体制となっている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			絵カード等を使った情報伝達を積極的に採用。危険と感じる段差や角にクッションやマットによる対策を講じている。入り口に階段があるため児童一人に職員1人が付くようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			大型エアコンや空気清浄機で、室内の温度や湿度を適宜調整している。今年は新型コロナウイルス対策として、職員全員フェイスシールド、マスク、グローブを着用し、アルコール消毒、換気を徹底している。	ほこり等がたまりやすい場所は、引き続きこまめに掃除する
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			必要に応じて報告し合い、評価改善を行っている。	
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後検討してゆきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○	新型コロナ蔓延前までは、勉強会等参加し学ぶ機会が定期的であった。	新型コロナウィルス蔓延のため困難な状況は続いているが今後は外部研修等も増やしてゆく。
適切な支援の提	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各職員に意見を求め立案している。より児童の興味を引き出せる新年度プログラムを採用している。	
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日、季節、児童の興味関心、発達年齢にあわせて工夫している。		

供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				打ち合わせ時間は日々限られているが、児童に関する変化や必要な情報を職員間でコミュニケーションを共有してゆく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了直後ではないが、気付いた点等は、当日中にグループメール等にて共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	20	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	—	現在、医療的ケアを必要とする児童は通所していない。	該当しない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	—	現在、医療的ケアを必要とする児童は通所していない。	該当しない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			地域の療育センターとの連携は行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童の特性によっては、そのような交流を苦痛に感じる方もいるため、弊事業所は行っていない。	児童の特性を考えると今後も弊事業所では行わない。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		今後検討してゆく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳を通じて情報共有できている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			月に1回の事業所内相談支援の時間に行っている。		
保	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				

護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		新型コロナウイルス蔓延のため困難な状況は続いているが今後検討してゆきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			2か月に1度以上、家族向けの法人報を発行している。	
	38	個人情報に十分注意しているか	○				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	児童の特性を考え、また当該事業の特性も考慮に入れた上で図っていない。	児童の特性を考え、弊事業所では今後も行わない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			職員全体で周知し個別の配慮をしている。	医師の指示ではないが、今後も保護者と密に連携して対応してゆく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事例集までは作成していない。新型コロナ蔓延前の勉強会等で共有していた。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			新型コロナ蔓延前までは、勉強会等を通し職員全体に意識付けを行っていた。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	—	—	—	身体拘束は一切行っていない。	該当しない。